

Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

2025年度

学生募集要項

【特別選抜】

私費外国留学生

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課入試係)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

目 次

前橋工科大学工学部の教育ポリシー.....	1
前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー.....	2
I 募集人員.....	4
II 出願.....	4
II-1. 出願資格	
II-2. 出願期間	
II-3. 出願方法	
II-4. 出願先	
II-5. 出願書類	
II-6. 入学検定料	
III 選抜方法及び試験日程等.....	7
III-1. 選抜方法	
III-2. 試験会場及び試験日時	
III-3. 受験上の注意事項	
III-4. 受験心得	
IV 合格発表.....	9
IV-1. 発表日	
IV-2. 発表方法	
V 入学手続.....	9
V-1. 入学手続期間	
V-2. 入学手続方法	
V-3. 入学手続き場所及び送付先	
V-4. 入学手続に必要なもの	
V-5. 入学手続上の注意事項	
VI 入学に係る経費.....	10
VII 障がい等へ配慮を必要とする入学志願者の事前相談.....	10
VII-1. 相談期間	
VII-2. 相談の方法	
VII-3. 連絡先及び提出先	
VIII その他.....	11
VIII-1. 個人情報の取扱い	
VIII-2. ノート型パソコンの必携化について	
試験当日の所持品チェックリスト.....	12

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の三つのポリシー（アドミSSION・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミSSION・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたがって、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに三つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修する
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得し、その結果を論理的に発表する力を身に付ける
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー

【建築・都市・環境工学群】

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会の構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実施すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、講義の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

【情報・生命工学群】

「入学者受入方針」(アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンスおよびライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C(あるいは同等の科目)、理科では物理(物理基礎を含む)・化学(化学基礎を含む)、生物(生物基礎を含む)(あるいは同等の科目)、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目(工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目)に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに基礎教育科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者として最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、講義の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士(工学)の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝えることができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

I 募集人員

学部	学群※	募集人員
工学部	建築・都市・環境工学群	若干名
	情報・生命工学群	若干名

※学科に相当します。(以下同じ。)

II 出願

II-1. 出願資格

日本国籍を有しない者であって日本国の永住許可を得ていない者で、下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ全ての要件を満たしている者。

(1) 基礎資格

次のいずれかに該当する者

- ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ②国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格取得者は、Aレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目）を有する者。

(2) 要件

次に掲げる全ての要件に該当すること。

- ①独立行政法人日本学生支援機構が行う2024年度実施の日本留学試験のうち、下記受験科目を受験している者。

なお、試験の出題言語は日本語とする。

【建築・都市・環境工学群】

日本語（読解、聴解・聴読解、記述を含む）

数 学（コース2）

理 科（物理及び化学の2科目）

【情報・生命工学群】

日本語（読解、聴解・聴読解、記述を含む）

数 学（コース2）

理 科（物理、化学、生物の中から2科目）

- ②TOEFL iBT®、TOEIC® L&R 公開テストのうちいずれか1つを2023年4月1日以降に受験している者

- ③出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有し、市区町村長の発行する「住民票の写し」（国籍、在留資格及び在留期間が明記されているもの）を提出できる者

II-2. 出願期間

2025年1月27日（月）～1月31日（金）

II-3. 出願方法

出願書類を前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学入試要項 ≫ 私費外国人留学生） [<https://www.maebashi-it.ac.jp/exam/ryuugakusei.html>] よりダウンロード・印刷し、必要事項を記入等の上、出願書類を出願書類提出用封筒に入れ、下記の出願先に速達の簡易書留で郵送してください。出願受付は、出願期間最終日必着ですので、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。

◎卒業証明書及び成績証明書の原本が日本語又は英語以外で作成されている場合の方は、事前に確認のため、「Ⅱ-5. 出願書類」の「入学願書（コピー）」及び「卒業証明書及び成績証明書等」の原本と日本語又は英語訳文（コピー不可）を事前に出願先まで連絡した上、速達の簡易書留で、次の受付期間内必着で提出してください。

受付期間：2024年11月25日（月）～11月29日（金）

Ⅱ-4. 出願先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-7361

Ⅱ-5. 出願書類

出願に必要な書類	作成方法等
①入学願書	黒色のボールペンで記入又はパソコン等で作成してください。 なお、現住所は日本国内の住所のみとなります。
②受験票、写真票	必要事項を記入し、縦4cm×横3cmの写真（正面上半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの）の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。カラー・白黒は、問いません。
③大学入学希望理由書・活動報告書	<u>本学ホームページにある書式を使用し、志願者本人が記入してください。</u> ※様式は、本学ホームページ≫入試情報≫大学入試要項のページ (https://www.maebashi-it.ac.jp/exam/university.html) からダウンロードしてください。
④身元保証書	本学指定様式を使用してください。身元保証人欄は日本国内に在住し、被保証者の身元を保証でき、日本国内での連絡先となれる者でなければなりません。なお、保証人が外国籍の場合には、少なくとも被保証者が在学中、日本国内に在住し、身元を保証できる者でなければなりません。
⑤入学検定料振込依頼書及び入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行は除く）の窓口にて納入してください。ATMやインターネットバンキングでの納入はしないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは受け付けできません。

出願に必要な書類	作成方法等
⑥卒業証明書及び成績証明書等	<p>卒業証明書等の各自の出願資格を証明する書類及び成績証明書は必ず原本を提出してください。ただし、成績証明書は、12年の課程のうち最後の3年間について記載されているものとします。</p> <p>原本が日本語又は英語以外で作成されている場合は、「原本」及び「日本語又は英語で作成された訳文」をそれぞれ提出してください。翻訳が本国の出身学校・大使館などの公的機関（大使館等の政府関係機関や大学等の教育機関を指す）のものでない場合は、内容が原本と相違ないことを、本国の出身学校・大使館等の公的機関で証明を受ける必要があります。</p> <p>「証明書が1通しか発行されない」等の理由でオリジナル（原本）を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたものを提出してください。</p> <p>本学学務課においても原本証明の対応は行うことができますが、証明書の日本語訳又は、英語訳については、本学では証明はできないため、日本語又は英語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付してください。（コピーは不可）</p> <p>国際バカロレア資格取得者はその資格証書の写し及び成績評価証明書、アビトゥア資格取得者は成績の記載されている一般的大学入学資格証明書の写し、フランス共和国のバカロレア資格取得者はバカロレア資格証書の写し及び成績証明書、又はバカロレア資格試験成績証明書、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）取得者はAレベル3科目以上又はAレベル2科目とASレベル2科目の合計4科目の成績評価証明書を提出してください。なお、これらの資格取得者で写しの提出を受けた者は、入学手続きの際に原本を郵送又は持参していただきます。郵送又は持参された原本は返却いたしますが、方法等については別途通知します。</p> <p>【学務課において原本証明を行う場合について】 事前に学務課に連絡の上、オリジナル（原本）を持参し、厳封を受けた書類を出願時に提出すること。 受付期間：2024年12月2日（月）～12月20日（金） 受付時間：月～金曜日（土日祝を除く） 9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分</p>
⑦国籍及び在留資格を確認できる書類	<p>市区町村長の発行する「住民票の写し」（国籍、在留資格及び在留期間が明記されているもの）を提出してください。前橋市内居住者（「VI 入学に係る経費」（11ページ）に該当するかどうかは、本提出書類で判断いたします。なお、配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。</p>
⑧日本留学試験の成績確認書（写）	<p>日本学生支援機構が実施する、2024年度実施の日本留学試験の成績確認書（入学願書に記入したもの）のコピーを提出してください。</p>
⑨TOEIC® L&R 公式認定証又は TOEFL®スコア認定証	<p>2023年4月以降に受験したTOEIC®L&R公式認定証又はTOEFL®公式スコア票を提出してください。（確認後コピーし返却しますが、返却の際に生じた郵便事故等に関しては、本学は一切責任を負いません。）</p>

出願に必要な書類	作成方法等
⑩受験票返信用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、定形郵便物(25gまで)+速達分の切手を貼ったもの。返信用切手が貼付されていない場合、受験票を返信いたしません。
⑪出願書類提出用封筒	提出書類送付用ラベルに、志望学科、差出人等の必要事項を記入し、角型2号の封筒にはがれないように糊付してください。

※ 出願書類は、原本を提出してください(提出した出願書類は返却できません。)

※ 一度提出している書類については、出願時に再度提出する必要はありません。

II-6. 入学検定料

入学検定料 17,000円

入学検定料の支払時は、別途、手数料がかかります。

一度納付された入学検定料は、次の①～④のいずれかに該当する場合を除き、どのような理由があっても返還しません。

- ① 二重に納入した場合
- ② 入学検定料の納入後、出願手続きをしなかった場合
- ③ 出願無資格者であることが判明した場合
- ④ 出願期間後に出願書類の提出があった場合

※上記①～④の場合は、検定料から手数料を差し引いた金額を返還します。納入した検定料の対象となる試験の実施日までに、本学学務課入試係(027-265-7361)に問い合わせください。

III 選抜方法及び試験日程等

III-1. 選抜方法

次の(1)～(3)により、総合的に判断します(両学群共通)。

- (1) 書類審査(大学入学希望理由書・活動報告書含む。)
- (2) 個別学力検査(一般選抜【前期日程】と同一問題)
数学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学C)
- (3) 面接

III-2. 試験会場及び試験日時

- (1) 試験会場: 前橋工科大学(試験室等は、当日に受付(1号館)でお知らせします。)
- (2) 試験日時: 2025年2月25日(火)10時00分から
- (3) 試験実施時間

時間		10:00～12:00		13:30～
科目	諸注意	個別学力検査	休憩	面接

※ 試験開始の1時間前から試験室に入室開始となります。

※ 受験生は、9時～9時30分までに指定された試験室等に入室し、着席してください。

III-3. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階にある大学事務局で受験票の再発行手続きをしてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (3) 試験室等は、当日、受付(1号館)に掲示します。

- (4) 受験生は、試験開始の30分前までに指定された試験室等に入室し、着席してください。
- (5) 試験開始後、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- (6) 面接では、試験開始時に不在であった場合は、欠席したものとして取扱います。
- (7) 該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- (8) 受験票は、試験監督者に明示できるよう机の上に置いてください。
- (9) 試験時間中に使用を認めるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
- (10) 試験室での受験生間の物品の貸借は、一切認めません。
- (11) 昼食の販売は行いませんので、必要な場合は、各自で用意してください。
- (12) 上履きは、不要です。
- (13) 駐車場は、数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関を利用してください。
- (14) 本学では、宿泊施設の斡旋はしていません。必要な場合は、各自で手配してください。
- (15) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受け付けを行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えませんので注意してください。
- (16) 試験日前日の午前限り試験会場の下見は可能ですが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (17) 受験者数により面接試験の待機時間が長くなる場合がありますので、ご承知おきください。特に、公共交通をご利用の方は、帰りの運行時間等にご注意ください。
- (18) 面接会場への、図面や作品等の持ち込みを禁止します。
- (19) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められているインフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症になり治癒していない者は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、これにより受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。
- (20) 不測の事態等が生じ、試験実施が困難であると判断した場合は、試験を中止し、又は試験形態を変更する事があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は、責任を負いません。
- (21) 試験の実施に関して変更等がある場合は、大学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。

III-4. 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は、失格とします。
- (2) 携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末は、アラーム機能を止めてから本体の電源を切り、かばんに入れ、身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。試験時間中にかばん等の中で音などが発生した場合は、監督者が本人の了承を得ずに、かばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (3) 座布団、ひざ掛けの使用を希望する場合は、試験開始前に挙手し、監督者の許可を得て使用してください。
- (4) 耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので、使用できません。
- (5) 試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は、行いません。
- (6) マスクを着用している場合は、顔写真照合の際、一時的にマスクを外していただくことがあります。
- (7) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められる場合、当該年度の本学における全ての入学試験において不合格とします。
- (8) 試験時間中は、退出することはできません。試験時間中に体調不良、トイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合は、挙手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、受験を中断した場合でも、試験時間の延長は、認めません。
- (9) 問題用紙及び解答用紙を配付する試験では、用紙に記載されている注意事項をよく読んでください。
- (10) 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くことや面接が終了した受験者が面接を終了していない受験者に面接の内容を教えることは、不正行為となり、双方が失格となります。

IV 合格発表

IV-1. 発表日

2025年3月6日（木）

IV-2. 発表方法

合格者には「合格通知書」および「入学関係書類」等を入学願書記載の日本国内の現住所宛てに郵送します。

また、合格者の受験番号は本学ホームページ (<https://www.maebashi-it.ac.jp/>) で合格発表日の13時以降に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。大学構内等での掲示は行いません。なお、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

V 入学手続

V-1. 入学手続期間

2025年3月7日（金）～ 3月13日（木）

V-2. 入学手続方法

入学手続書類の提出は、郵送又は持参により行ってください。

郵送：速達の簡易書留とし、提出期間内必着

持参：受付時間は、土日祝日を除く、9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分

V-3. 入学手続き場所及び送付先

「II-4. 出願先」（5ページ）と同じ。

V-4. 入学手続に必要なもの

①振込金受領書〔入学料〕【原本】：書類提出前に金融機関で納入してください。

②本学の受験票（又は合格通知書）

③入学手続案内で指示するもの

a) 誓約書（本学所定の用紙）

b) 学生調査票（上記 a の裏面）

c) カラー写真 2枚（縦4 cm×横3 cm。1枚は学生調査票に貼付。）

※①、②は手続き完了後返却します。

※入学許可書の発行をもって、入学資格が発生します。

V-5. 入学手続上の注意事項

①期間内に手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

②必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。

③入学料を納入した場合でも入学手続に必要な書類は、所定の期日までに必着していなければなりません。

④卒業（修了）見込み又は学位授与見込みで出願・合格し、入学手続きを完了した場合でも、2025年3月31日までに卒業（修了）又は学位授与されないことが判明した場合には、入学資格を失います。

⑤入学手続完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、直ちに本学に連絡し、2025年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。

⑥一度受付をした入学手続書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても、返還しません。ただし、次のア又はイのいずれかに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続期間の最終日までに、学務課入試係に問い合わせてください（振込手数料は、本人負担となります。）。

ア 二重に納入した場合

イ 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

入学手続書類を受理しなかった場合は、本学から入学料の返還手続の案内を行います。

VI 入学に係る経費

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学手続時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1)	
諸 経 費	後援会費	50,000円	入学前
	同窓会費	20,000円	
	災害傷害保険料 (注2)	4,660円	
	TOEIC受験料 (注3)	3,130円 [1年次に受験]	
学生自治会費		21,000円	入学時
授業料 (注4)		535,800円 [年額]	4月 及び 10月

※上記の額は、2024年4月1日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されます。

※入学料等の支払時は、別途、手数料がかかります。

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が2025年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者（2024年4月1日～2026年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者）とします。「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、2025年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し（2025年4月1日以降に転出した者は住民票の除票）を提出していただきます。

なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただくこととなりますので、ご注意ください。

(注2) 災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。）で、指定された期日までに払い込んでください。

(注3) 後援会加入の場合は、2,000円の助成が受けられます。

(注4) 授業料の納入については、前期及び後期の2期に分割し、前期分については4月末日までに、後期分については10月末日までに、それぞれ年額の2分の1に相当する額を納入することとなります。また、教科書購入等のために別途費用が必要となります。

VII 障がい等へ配慮を必要とする入学志願者の事前相談

障がい等のあるかたが本学への入学を志願する場合で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるときは、次のとおり、出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを負うこととなった場合も、速やかに相談してください。

VII-1. 相談期間

2024年11月25日（月）～ 11月29日（金）

VII-2. 相談の方法

事前に学務課入試係（027-265-7361）まで電話連絡し、本学で定める相談申請書（住所・氏名・性別・連絡先・志望学群・障がいの状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください）及び診断書等の必要書類を提出してください。

必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

VII-3. 連絡先及び提出先

「II-4. 出願先」(5ページ)と同じ。

VIII その他

VIII-1. 個人情報の取扱い

本学では、提出された書類及び入学試験の実施により志願者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報については、関係法令を遵守し、次の目的以外には利用しませんので、あらかじめご了承ください。

- (1) 入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、教務関係及び学生支援関係の業務並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために、学内でのみ利用します。

なお、本学が上記の業務を行うに当たり、外部の事業者に委託することがあります。

その際の個人情報は、上記(1)～(3)に基づき、適切な取扱いをすることとし、業務終了後は速やかに破棄する契約を締結します。

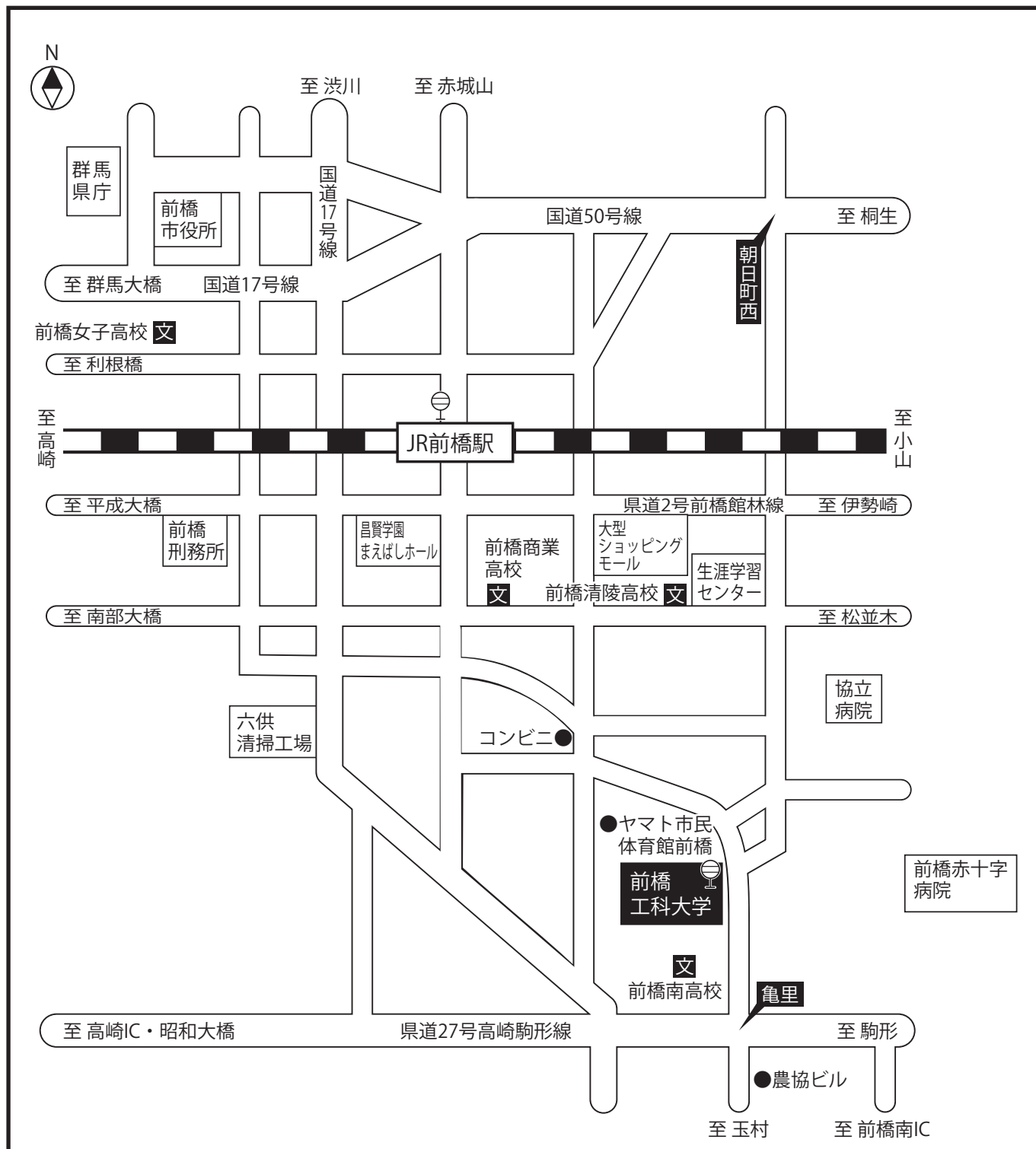
VIII-2. ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や、ICTを活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実を目的として、ノート型パソコン必携制度を実施しています。これにより、本学に入学される方は、入学までに各自でパソコンを準備していただくこととなります。なお、準備していただくノート型パソコンの推奨仕様は、後日、大学ホームページでお知らせします。

試験当日の所持品チェックリスト

①	2025 年度前橋工科大学受験票	
②	鉛筆（黒「HB」「B」）または シャープペンシル（黒「HB」「B」）	
③	消しゴム	
④	鉛筆削り	
⑤	時計（時計機能のみのもの）	

前橋工科大学案内図



アクセス

- ・バス JR 前橋駅北口4番のりばから約10分「前橋工科大前」下車
- ・タクシー JR 前橋駅から約10分
- ・徒歩 JR 前橋駅から約45分